

企画提案書作成事項

企画提案書は、以下の項目について別紙様式に従い、様式1から様式3全体で、A4版20ページ以内で作成すること。ただし、資料添付が必要な場合は、別添として差し支えない。

1. 事業内容調書【様式2】

(1) 事業概要

ア 事業の目的・必要性

- (ア) 本事業の実施により達成しようとする目的を簡潔かつ明確に記述すること。
- (イ) 本事業の実施にあたっての課題及び重視する点について記述すること。

イ 事業内容

本企画競争における企画提案においては、以下の業務の実施方法について、それぞれ提案すること。

(ア) 効率的・効果的な発信を行うための具体的商品情報の集約・整理

- ① 平成30年度に実施した、「『新しい東北』交流拡大モデル事業普及・展開事業」において、昨年度平成28・29年度を対象に「『新しい東北』交流拡大モデル事業」の成果の網羅的な情報集約及び専門的見地にに基づき評価を行うとともに、その結果を東北等の様々な関係者に活用しやすいよう整理し、普及、展開が図られるようにしたところであるが、平成30年度「『新しい東北』交流拡大モデル事業」についても同様の取組を実施する。なお、上記取組は同名モデル事業の「広域型」及び「地域型」を対象とする。また、上記取組と合わせて平成28・29年度の過年度モデル事業においては事業終了後フォローアップのため、各モデル事業1年間の成果の整理も追加すること。
- ② 整理、普及、展開が図られるようにした、平成28・29・30年度の「『新しい東北』交流拡大モデル事業」の成果を、今年度や令和2年度（2020年度）以降の東北の観光振興に活用できるよう、具体的商品の集大成として整理・統合し、訪日外国人旅行者向けに販売ができるよう、情報発信を行う。
- ③ 情報発信に当たっては、具体的商品の特性を勘案し、BtoBでの販売をするもの、BtoCの販売をするものを整理し、それぞれ効果的な販売が可能な方策を提案し、実施すること。

(イ) 令和元年度「『新しい東北』交流拡大モデル事業（普及・展開）」の各モデル事業における海外プロモーションへの支援業務

- ① 令和元年度に採択された「『新しい東北』交流拡大モデル事業（普及・展開）」の各モデル事業担当者から積極的に情報収集し、各プロジェクトの進捗状況を把握すること。

- ② 特に、海外でのプロモーションを効率的効果的に行うため、各事業の海外でのプロモーションの実施内容を把握し、複数の事業の成果を重層的に発信することで、より魅力的、効果的な情報発信を実施すること。
 - ③ 海外でのプロモーションを複数回提案、実施すること。
 - ④ 海外でのプロモーションに加えて、現地旅行会社等へのセールスコールも連携して実施すること。
 - ⑤ 上記のほか、プロモーションに付随して発生する事務を処理すること。
- (ウ) 東北の魅力発信、誘客のための情報発信ツールの制作
- ① (ア)の業務を踏まえた上で、東北の魅力発信、誘客のための情報発信ツールを制作すること。
 - ② 制作に当たり、より効果的な情報発信ができるような媒体等を提案すること。
 - ③ 令和2年の「2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会」開催時にも活用できるものとする。
 - ④ 制作部数等は、全体の事業費を勘案し、制作可能な部数を提案すること。

ウ 実施体制

事業を実施するにあたっての事業主体内での体制、役割分担、他の主体との協力的体制などを記述すること（図を用いることも可とする）。

業務内容ごとの業務従事者の経歴・手持ち業務等、及び配置・役割分担を記述すること。そのほか、事業実施に必要な他の関係者、協力者等に関する情報（氏名、略歴の一覧）についても、記述すること。

(2) 本事業の全体計画

業務の実施フロー及び令和元年3月27日までの業務実施スケジュールについて記述すること。

(3) 本事業に関連するこれまでの取組の状況

過去5年以内における本事業に類する事業の実績を記述すること。

(4) 情報の適切な取扱いについて

事業実施の際、個人情報を取扱うことが想定されることから、個人情報の適切な取扱いについて具体的な対策を記述すること。

2. 費用積算書

本事業の費用積算項目を明記するとともに、積算内訳を作成すること。

その際、各項目について、単価及び数量を明記し、支出内訳がわかるように記載するなど、様式3を参考にすること。

以上の内容が含まれていれば、様式は自由とする。

3. その他【様式4】

暴力団等に該当しない旨の誓約書を提出すること。